宮崎善仁会病院 リウマチセンターニュース

第7号(2022年10月号[2022/10/11発行])

朝晩冷えてきた今日この頃ですが、お 風邪など召されておりませんか?うま く体調を整えていきましょう。さて、 本号でも引き続き、関節リウマチ(RA) に対する薬物治療についてお話しいた します。

本号では、前回お話ししました TNF 阻害薬以外の生物学的製剤 (bDMARD) について述べてみたいと思います。

生物学的製剤治療 ~非 TNF 阻害薬~

TNF(RA に関連する生体内炎症性物質の一つ。詳しくは前号を御参照下さい)以外を標的とする bDMARD には、IL-6(RA に関連する生体内炎症性物質の一つ)を標的とするトシリズマブ(アクテムラ®)やサリルマブ(ケブザラ®)と免疫細胞である T 細胞を標的としたアバタセプト(オレンシア®)があります。

IL-6 阻害薬

【トシリズマブ (アクテムラ®)】

この製剤は、TNFと異なる炎症性サイ トカインである IL-6 を標的として作成 されたヒト化抗 IL-6 レセプター抗体で す。日本で開発された bDMARD です。点 滴でも皮下注射でも投与可能です。点 滴の場合は1ヶ月に1回、1時間かけ て投与します。皮下注射の場合は2週 間に1回の頻度で投与しますが効果不 十分の場合は1週間に1回と期間を短 縮することもできます。皮下注射製剤 は自分で注射すること(自己注射)も可 能です。治療効果は前号でご紹介した TNF 阻害薬と基本的には同じで、関節 破壊抑制効果もあります。炎症反応を 抑える効果が非常に高く、早期から炎 症を抑えますが、その反面、副作用と しての感染症を起こした際も炎症反応

が上がらなかったり、発熱や全身倦怠 感などの症状が出にくくなったりして しまう可能性もありますので注意は必 要です。この製剤を使用中の方は、体 調異常を少しでも感じたら早めに受診 しましょう。その他の副作用として は、検査値異常(肝機能異常、白血球 減少症、高脂血症等)や皮膚障害等が あります。

【サリルマブ (ケブザラ®)】

この製剤も IL-6 を標的としたヒト型 抗ヒト IL-6 受容体モノクローナル抗体 です。2週間に1回の頻度で皮下注射 を行い自己注射も可能です。平衡解離 定数が低くトシリズマブよりも結合親 和性が高いです。効果発現も2週間に 1回のトシリズマブより早く、トシリ ズマブの毎週投与と同じ程度の印象で す。トシリズマブ同様、炎症反応を抑 える効果が非常に高く、早期から炎症 を抑えますが、その反面、様々な副作 用の症状をマスクしてしまう可能性も ありますので注意は必要です。体調異 常を少しでも感じたら早めに受診しま しょう。副作用は、アクテムラとほぼ 同じです。

T 細胞共刺激阻害薬 【アバタセプト(オレンシア®)】

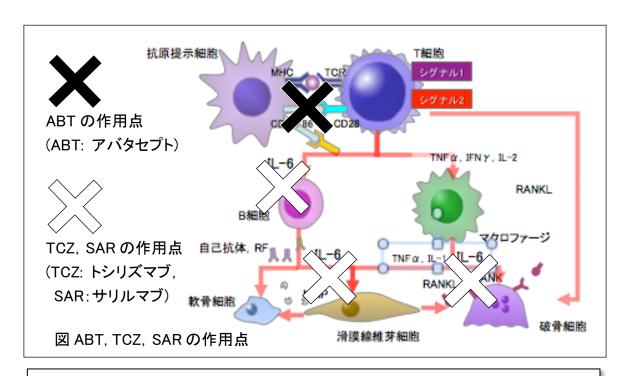
炎症性サイトカインではなく、免疫の司令塔である T 細胞を標的とした生物学的製剤も使用出来るようになりました(図)。これがアバタセプト(オレンシア®)です。この製剤も点滴でも皮下注射でも投与可能です。点滴静注の場合は 1 ヶ月に 1 回(最初の 1 ヶ月は 2 週間ごと)、皮下注射の場合は 1 週間に 1 回の投与で自己注射も可能です。 RAの病態により上流で関連している T 細胞の活性化を抑制することにより効果

が発現します(図)。その効果はTNF製剤と同等であり関節破壊抑制効果もあることが分かっていますが、特に抗CCP 抗体価が高い場合には、TNF 阻害薬より効果が上がるという報告あります。また、間質性肺炎を合併する患者さんに対しても使いやすい印象です。投与時反応や注射部位反応も少なく、感染症の副作用も従来の生物学的製剤に比し少ないという報告もあり、副作用の出やすい高齢者に対しても比較的安全に使用できる製剤です。

前回、今回と bDMARDs のお話しをしました。次回は、最近使用できるようになった分子標的型合成抗リウマチ薬(tsDMARD)である JAK 阻害薬のお話しを

したいと思います。では、また紙面で お目にかかりましょう。(日髙利彦)

南九州 RA コメディカルセミナーで当 院薬剤師小村大輔先生が講演しました 2022/9/29 (木) に南九州のコメディカルの先生を対象に、「南九州 RA コメディカルセミナー」が開催されました。 その講演の中で、当院の薬剤師でリウマチ財団認定薬剤師でもある小村大郎 といより「医療安全 BIO 製剤の取扱いについて」という演題名で大変制からしい講演を行いました。聴衆の先生も大変勉強になったと思います。これらもご活躍をお祈り申し上げます。



リウマチセンターニュースのバックナンバーの必要な方は当院の職員に気軽にお尋ね下さい. なお, 当院のホームページでもバックナンバーを確認出来ます.

(https://www.m-zenjin.or.jp/publicity_cat/publicity_1)